

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2023-24年度 RI会長／ゴードンR.マッキナリー
RI.D2590ガバナー／樋口 明
横浜旭RC会長／田川 富男



ウクライナ避難民支援

ポリオ撲滅運動
パキスタンにて

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
<http://yokohamaasahirc.cho88.com>
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2024年3月27日 第2538回例会 VOL.55 No.27

■開会点鐘 会長 EL 北澤 正浩

■出席報告

| | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 会員数 | 20名 | 本日の出席数 | 15名 |
| 本日の出席率 | 75.00% | 修正出席率 | 63.16% |

■本日の欠席者

草柳、中谷、二宮、宋、田川

■他クラブ出席者 田川・岡田（地区）

■会長報告 北澤 正浩

本日は田川会長が欠席のため、代理で会長報告をさせていただきます。

24日の日曜日に開催されました地区ラーニングに出席し、次年度が近づいていると感じました。

次年度のガバナーからの方針も発表されたので、それに沿った形で会長方針を作成して参りますが、多年度にわたるプロジェクトを打ち出すように指示がありましたので、皆様と相談して計画したいと思います。

本日の夜間例会は親睦を深める良い機会だと思いますので、楽しい例会にしましょう。

■幹事報告 岡田 隆

1、地区社会・国際奉仕委員会ホームページへのコンテンツ提供依頼が届いております。

何か紹介したい内容がございましたらお申し出ください。

2、ガールスカウトとのクリーン作戦

日時 2024年4月13日(土) 10時集合

場所 二俣川駅改札口付近（小雨決行）

恒例ガールスカウト第102団と大池公園までのクリーン作戦です。ご参加よろしくお願ひします。

3、例会臨時変更のお知らせ

○横浜南ロータリークラブ

4月6日・27日 特別休会

5月4日・25日 特別休会

○神奈川東ロータリークラブ

5月24日(金)⇒26日(日) 移動例会

5月31日(金) 休会

○保土ヶ谷ロータリークラブ

4月15日(月) 休会

4月29日・5月6日 祝日休会

■次週卓話

4月10日 サビロフ・イリスベク
(難民として来日。キルギス出身)

【キルギス共和国】(Wikipediaより)

公用語／キルギス語、ロシア語

首都／ビシュケク

面積／198,500km² (84位)

水面積率／3.6%

人口／(2022年)6,071,750人 (112位)

GDP／(2019年)352億8000万ドル(137位)

独立／ソビエト連邦より1991年8月31日



▶キルギス共和国、通称キルギスは、中央アジアに位置する共和制国家。かつての正式国名はキルギスタンであり、改称以降も別称として公式に認められている。首都であり最大の都市はビシュケクである。

ソビエト連邦の崩壊に伴い独立した。内陸国で、カザフスタン、中華人民共和国、タジキスタン、ウズベキスタンと国境を接する。

▶概要

キルギスは、旧ソビエト連邦の構成国であり、NIS 諸国の一つに数え上げられる。独立国家共同体、ユーラシア経済連合、集団安全保障条約、上海協力機構、イスラム協力機構、テュルク評議会、テュルクソイ共同体およびテュルク語圏諸国議会（英語版）、国連に加盟している。

人口600万人のうちキルギス人が過半数を占め、少数民族としてウズベク人とロシア人がこれに続いている。キルギス語は他のテュルク系言語と密接に関連しているが、ロシア語も公用語として話されており、これは1世紀にわたるロシア化の遺産である。人口の90%はイスラム教徒で、その大半はスンナ派である。

また、同国の文化はそのテュルク系の起源に加えて、イラン、中央アジアをかつて支配したモンゴル帝国、ロシアの影響を受けている。

同国の歴史は、様々な文化や帝国に及んでいる。キルギスは山岳地帯にあり、地理的には孤立しているが、シルクロードやその他の商業ルートの一部として、いくつかの偉大な文明が交差してきた。キルギスにはいくつかの部族が住んでおり、大きな支配を受けたこともある。

突厥、ウイグル帝国と契丹に支配され、13世紀にはモンゴル帝国に征服された。その後、独立を回復したが、カルムイク人、満州人、ウズベク人に侵略された。1876年にロシア帝国の一部となり、ロシア革命後はキルギス・ソビエト社会主義共和国としてソビエト連邦に残った。ミハイル・ゴルバチョフによるソ連の民主化改革を受けて、1990年に独立派のアスカル・アカエフがキルギスの大統領に選出された。1991年8月31日、キルギスはモスクワからの独立を宣言し、民主的な政府を樹立した。1991年のソ連崩壊後、キルギスは国民国家としての主権を獲得した。

独立後、キルギスは正式に単一議会制共和国となったが、民族紛争、反乱、経済問題、移行期の政府、政治的対立などが続いている。

2010年キルギス騒乱後は、中央アジアでは珍しい民主的な政権運営が評価されてきたが、2020年キルギス反政府運動を機に政権を得たサディル・ジャパロフ大統領は貧困層への支援などで高い支持率を得ながら自らへの権力集中も進めていると指摘されている。イギリスのエコノミスト・インテリジェンス・ユニット研究所によって発表されている「民主主義指数」では、キルギスは2020年までは「混合政治体制」と分類されてきたが、ジャパロフが就任した2021年以降は順位を落とし「独裁政治体制」と分類されている。

人間開発指数120位の発展途上国であり、中央アジアでは2番目に貧しい国である。この国の移行経済は、金、石炭、ウランの鉱脈に加え、石油と天然ガスに大きく依存している。

2021年4月29日に生じたタジキスタンとの国境地帯での軍事衝突が発生。さらに2022年9月にも死傷者が生じる衝突が発生した。この衝突は両国首脳が参加して行われた上海協力機構首脳会議の期間中に発生しており、互いに部隊を撤収させることで合意を見たが現地では戦闘は続いた。両国間の国境線は半分近くが確定しておらず、水資源の奪い合いなどの住民間のトラブルが軍事衝突に発展する危険性をはらんでいる。